宮崎大学医学部附属病院　救急　専門医養成プログラム

～　Residency For Miyazaki　～

1. プログラムの概略・特徴

- 地域医療と高度先進医療を経験することができる。
- 都会ではできない、専門救急診療に偏らない救急診療を研修できる。
- 卒後５年で救急専門医を取得し、さらに Subspecialty を修得する。

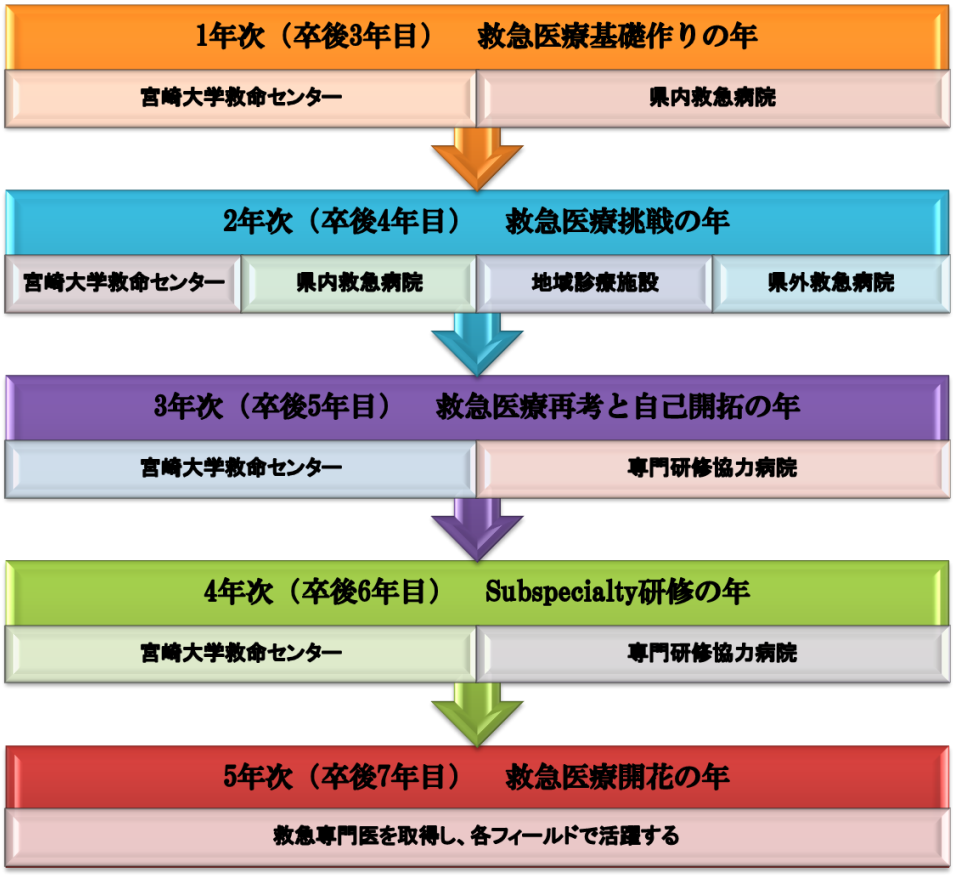
2. 研修目標

- 現場でも集中治療室でも戦える医師になる。
- ０次医療から３次医療まで幅広く対応できる医師になる。
- 次の世代のリーダーシップをとれる医師になる。

０次から3次まで！
目指すは「救急志向型ジェネラリスト」！

救急医療/ERを学びの場の中心とし、それに付随して病院前医療、地域医療、病院総合医療、集中治療を学び、各フィールドで活躍できる「救急志向型ジェネラリスト」を育成する。

3. 研修スケジュール



※学外研修先、期間は希望を優先して決めます。

3つの後期研修プログラム

総合救急医コース
General Emergency Physicians
目標とする医師像

- １次～３次まで、病院前～集中治療まで対応できる医師になる
- 高度救急医療、ER型救急、総合診療，災害医療、病院前救急、集中治療など救急医療全般で活躍できる医師になる
- 患者の全身を診ることができる救急医療志向型総合医（総合救急医）となる
- 内科、小児科、外傷、その他のMinor Emergencyの一般的な対応ができる
- 救急専門医を取得する
- 研究、教育ができる医師になる

内科系救急医コース
Medical Emergency Physicians
目標とする医師像

- １次～３次まで、病院前～集中治療まで対応できる医師になる
- 内科，総合診療，精神科、小児科、集中治療、麻酔のいずれかをSubspecialtyとする
- 外傷の一般的な対応ができる
- 救急専門医を取得する
- 研究、教育ができる医師になる
- （内科認定医、総合診療科、集中治療などの専門医取得）

外科系救急医コース
Surgical Emergency Physicians
目標とする医師像

- １次～３次まで、病院前～集中治療まで対応できる医師になる
- Acute Care SurgeryをSubspecialtyとする
- 外科、整形外科、脳神経外科、形成外科のいずれかをSubspecialtyとする
- 一般的な内科系救急の対応ができる
- 研究、教育ができる医師になる
- 救急専門医を取得する
- （ACS専門医を取得する）

- 基本的な研修方針

- レジデント勉強会
- 通称「レジ勉」！
- 後期研修医が初期研修医に毎日レクチャーを行う。
- ICLS,JATEC,JPTECなど受講し、インストラクターを取得する

指導して学ぶ！

- 救命センターで外傷、内科疾患の全身管理を学ぶ！
- 集中治療、ER型救急、プライマリケアなど様々な救急医療を修得する
- 後期研修医はチームリーダーとなり、指導医は脇役としてサポートする。
- 約2年間のサブスペシャリティ研修！
- 半年～1年間の国内留学！

ジェネラリストへの道！

- 抄読会は後期研修医が企画！
- 初期診療アドバンスシミュレーションで様々な疾患、状態、患者に対応できるように訓練！
- 学会発表、臨床研究！

臨床も研究も！

- 研修施設紹介

➢ 宮崎大学救命救急センター　～Onset to discharge すべてを学べ～

✧ ３次医療機関。

- ✧ ERは2ベッド（うち1室は緊急手術可能な手術室）＋1診察室
- ✧ 外来から20秒で移動できる救急専用の128列ＣＴがあります。
- ✧ 救急専用ポータブルレントゲン機器1台、超音波装置2台
- ✧ 入院病棟　20床　＋　ICU、一般病棟
- ✧ 指導医は14名
  - ● 脳神経外科、循環器内科、麻酔集中治療科、呼吸器科、小児科といった各科での指導経験豊富な救急専従スタッフが8名、後期研修医2名
  - ● 整形外科、外科でバリバリの応援スタッフ7名
- ✧ 多発外傷、ショック、重症感染症、脳血管障害など重症患者を治療。
- ✧ ER での初期診療から重症集中治療、一般病棟診療、退院/転院までをトータルマネージメント。
- ✧ 重症患者に合併する、様々な合併症に対する評価、診断、治療ができるようになる。
- ✧ 宮崎式ではなく、Global standard な診療を修得。
- ✧ 月 4-5 回は当直業務として夜間の ER、病棟を担当します。困った時には指導医が全面的にバックアップします。シニアレジデント1年次は指導医が一緒に当直します。
- ✧ 当直翌日は引き継ぎ後、勤務終了です。
- ✧ 宮崎大学は宮崎県ドクターヘリの拠点病院。
- ✧ シニアレジデントはドクターヘリスタッフ候補生。何度でも乗ってもらいます。
- ✧ ドラマ「コードブルー」の舞台、千葉北総病院で活躍したドクターK の熱い指導を受けよう。
- ✧ 救急専従スタッフは各専門科で指導をしてきたベテラン揃い。
- ✧ 高度かつ専門的な指導を毎日受けられる。
- ✧ 難病などを各専門家へ直接コンサルテーションできるのは大学病院ならではです。
- ✧ 「教えることは学ぶこと」学生へのレクチャー、ジュニアレジデントを指導することで自らを研鑽。
- ✧ 上級シニアレジデントはレジデントチームのリーダーとして、病院前、ER、病棟でチームを指揮。
- ✧ レジデントラウンド(回診)、レジデント勉強会をレジデント自ら開催。
- ✧ 救急は On-Off スイッチが大切。休日はしっかり確保。鋭気を養って明日の宮崎のために研修しよう。

➢ 県内２次救急病院　～宮崎救急医療の屋台骨～

- ✧ 県内中核医療機関で救急医療を支える病院での１次、２次救急研修。
- ✧ 軽症から重症まで数多の症例を経験。
- ✧ 宮崎を支える経験豊かな救急専門医から直接指導を受け、臨床医としての経験を積もう。

➢ 県内地域医療の最前線である診療所、病院で勤務

- ✧ 君は「村の頼れるお医者さん」になれるか。
- ✧ 予防接種、集団検診、高齢者医療など、地域の医療はなんでもこなす。
- ✧ 医療資源に乏しい地域で医療をする大変さ、「高次医療機関への患者搬送」の課題を学ぶ。

- ✧ 内科、外科、整形外科など、専門的内容を相談したくてもできない境遇に身を置くことでしか得られない医療がある。
- ✧ 何もできない悔しさ、どうしたらいいかわからない迷いを経験。。。葛藤を経て大きくなれる。
- ✧ そこから得るものは、人間としての優しさ、強さ、たくましさ。

- ➢ Subspecialty を見据えた自由選択期間
  - ✧ 国内外への留学も可能。University of California, Irvine との提携で海外留学をサポート。
  - ✧ 大学内の各専門科での専門研修も当然可能です。得意技を身につけよう。

4. 評価

- 資格取得、県外勉強会への参加をサポート
  - ➢ ACLS、JPTEC、JATEC のプロバイダーは必ず取得、ドクターヘリ講習会は必ず受講。
  - ➢ その他、講習会、勉強会への参加をサポートします。
  - ➢ 日本救急医学会専門医をはじめ、各学会専門医がとれるように研修をサポートします。

5. 募集人員

- ➢ 2～3 名

6. 実施責任者

救命救急センター　センター長（教授）；落合秀信（日本救急医学会専門医、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、脊髄外科認定医）

7. 指導責任者

救命救急センター　副センター長（助教）；金丸勝弘（日本救急医学会専門医、日本航空医療学会認定指導医）

8. 関連施設、学会認定状況

宮崎大学医学部附属病院救急部：日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本脳卒中学会認定研修教育病院

9. その他

・平成 24 年 4 月から宮崎県ドクターヘリが導入され、基地病院として For MIYAZAKI を合言葉に宮崎のための医療を展開しています。

・米国、タイなど海外からの研修も受け入れています。

10. 連絡先

- 応募方法　下記連絡先に問い合わせの上、必要書類を請求してください。
  - ➢ メールでの相談：宮崎大学医学部附属病院救命救急センターHP
    (http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/kyuumei/cgi-bin/contact/form/)
  - ➢ 電話での相談：宮崎大学医学部附属病院　救命救急センター　TEL：0985-85-9094　金丸まで

- 選考
  - ➢ 書類、面接で選考します。